

寺
ごよみ

一 月

一 日 除夜の鐘
年頭参り
一四日 法要準備

御正忌

一五日午前十時 お講
午後一時 法要
一六日午前十時 お講
午後一時 法要
講師：文殊康明師
福井・善能寺副住職

富山別院三法要

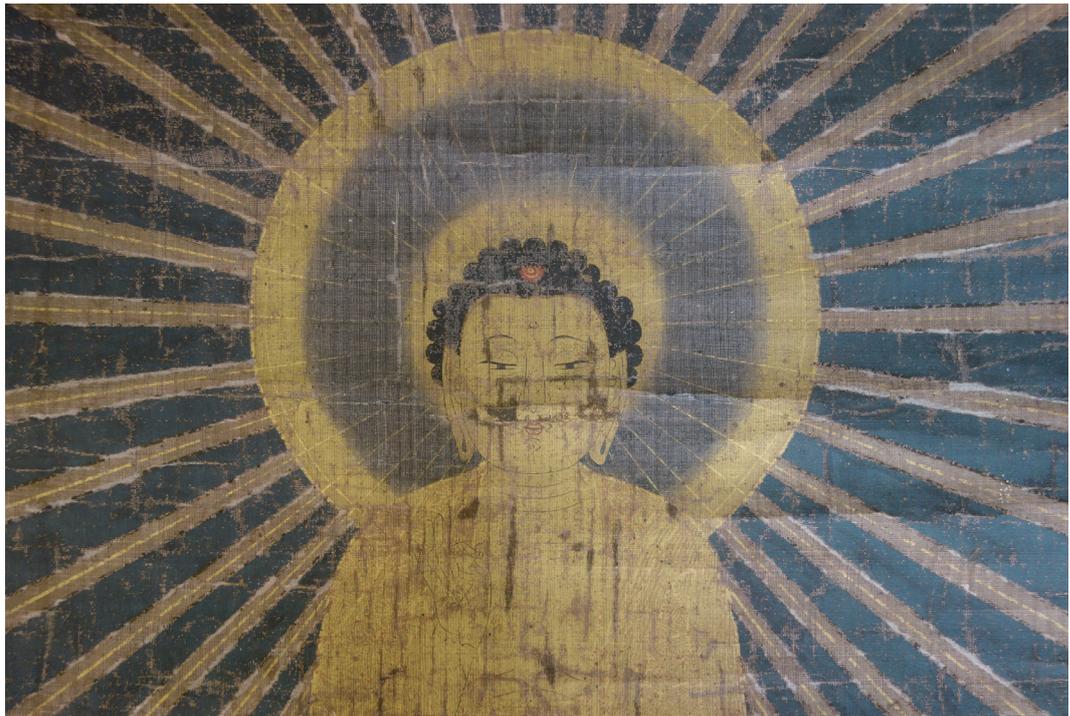
親鸞聖人七五〇回大遠忌
別院開創一三〇周年記念
本堂再建五〇周年記念
日程：六月四〜五日

本願寺伝灯奉告法要

日程：十月一日〜
翌年五月三一日

寺 報
善 巧
ぜん ぎょう

発 行
〒 938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山 497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
http://www.zengyou.net



善巧寺最古の阿弥陀如来絵像 (1521年、本願寺第9世実如上人より下附)

親鸞聖人の祥月命日
御正忌
一月十五〜十六日

子育て中のお寺仲間の間では、毎年十二月になるとクリスマス話題で盛り上がりります。

私が子供の頃は「お寺にクリスマスは必要なし」が当たり前でしたが、最近世の中の盛り上げ方が激化して、保育園でも一ヶ月前からクリスマスソングの練習が始まり、飾りつけをみんなですて、盛大にパーティを行います。そんな中でうちの子は必要なしとはさすがに言えません、次に子供にとっては「なんでうちではやらないの？」が大きな問題となりま

バラバラで一緒

無理やり置き換えて「お坊サンタ」に変身する人もいるぐらいです。

こちらからすると、イスラム教徒に豚肉を出して、「みんなが食べてるのになんであなたは食べないの？」と聞くようなものなのですが、日本では、どんなに多様化の時代と言われても、「みんな同じ」という感覚が根付いているので、少数派は黙っています。

以前、東本願寺に「バラバラで一緒」というスローガンがありました。「一緒」と思っていた人に「違い」があると、裏切られたような気持ちになります。あらかじめ人はそれぞれに違うということが前提にあると、少しの共通点に喜ぶことが出来ます。世代間のギャップも同じことではないでしょうか。そのことを今一度見つめていきたいです。

す。「うちはアミダさまがいつも見守ってくれているからサンタさんは来ないんだよ」と言っても、すでにクリスマスマスの物語に没頭しているの、なかなか受け入れられません。ここでお寺の葛藤が始まります。イベントと割り切る人もいますし、

雪山俊隆

報恩講

十月十九〜二十日

今年も無事に報恩講をおつとめしました。初日は、親鸞聖人の生涯を絵であらわした「親鸞聖人伝絵」の目の前で「絵説き法話」としてお話いただきました。恒例のバザーやお寺クイズも盛り上がり、楽しくもありがたい時間となりました。

どの行事にも共通することですが、ひとつの法要をつとめるにあたり、とてもたくさんの方に支えられています。まず、行事のお知らせを兼ねて

や仏婦の方々を中心に支えられています。法要が終わると、お供え物を仏様の「おさがり」として参拝者にお配りして結びとなります。



おけそく作り



幕吊り



寺報郵送作業



お供え物は仏様の「おさがり」として参拝者へ



色付け



串刺し



切り抜き

空華忌

十一月四〜五日

善巧寺の第十一世、僧
鎔（そうよう）法師のご
法事「空華忌」。今回は、
初日に「正信偈に学ぶ」
と題して専精会主催の講

座が行われました。浄土
真宗の教えを深く学べる
講座として評判を呼び、
県内外より五十名ほどの
ご参加がありました。
二日の法要では、三年
に一度宗門校「行信教校」
の学生さんたちが参拝す



る年にあたり、三十六名
の若い僧侶がお参りくだ
さいました。両日ともご
講師は天岸浄圓先生。ど
うしても先生のお話を聴
きたい！と県外から来ら
れる方もありました。



コーヒーを一杯どうぞ

定例行事「お講」の折に、食事が番を
担当してくださる地区の皆さんへ、門徒
会館でお疲れ様のコーヒーやお茶に誘っ
ています。

門徒会館は建立から二十五年経ちます
が、今でも「初めて入ったわ〜」「いいと
こやぞ〜」という声を耳にします。一番活
用してもらってはすの門徒さんが利用して
おられなかったことの反省をひまえ、今後
も入りやすい環境を整えていきますので、
どうぞご自由にお入りください。お寺へ
のご相談、お友達と
のお茶会、習い事の
発表会や展示会など
も大歓迎です。



御正忌

親鸞聖人の祥月命日（一月十六日）を中心にお勤めする厳粛な法要です。

一月十五日（金）

午前十時 お講

午後一時 法要

十六日（土）

午前十時 お講

午後一時 法要

講師：文殊康明師

福井・善能寺副住職

年頭参り

一月一日午前八時

御正忌準備

一月十四日午前九時

仏婦総会

二月七日

正信偈に聞く

日程：平成二十八年 四月十一日 午後二時
講師：天岸浄圓師（行信教校講師）
会費：二千円
（僧侶五千円）

主催：専精会富山支部

ほんこさまやご法事に読まれる「正信偈」を一から深く学んでいます。どなたもご自由にご参加ください。



天井画ガイド募集中!

おかげさまで県内外より善巧寺の天井画を観に来られる方が増えています。春に観覧期間を予定していますので、ご協力いただける方を募集します。私たちのお寺の財産を多くの人に紹介しませんか。

時間：一日二〜三時間程度

内容：誘導、お茶出しなど



寺ごよみ

二月

一日 おこう（浦山）

七日 仏婦総会

一〇日 生地・荻生・植木

一日 生地・荻生・植木

一六日 おこう（下立）

一七日 生地・荻生・植木

一八日 舟見報恩講

二二日 入善報恩講

二三日 入善報恩講

二五日 熊野・柝屋報恩講

二六日 熊野・柝屋報恩講

寺ごよみ

三月

一日 おこう（浦山）

二日 三日市報恩講

三日 三日市報恩講

七日 三日市報恩講

八日 三日市報恩講

一〇日 下立報恩講

一一日 下立報恩講

一四日 下立報恩講

一六日 おこう（柝澤）

一七日 浦山報恩講

一八日 浦山報恩講

二二日 浦山報恩講

二三日 浦山報恩講

二四日 浦山報恩講

二五日 浦山報恩講

二八日 浦山報恩講

二九日 浦山報恩講

三〇日 浦山報恩講

合掌

昨年十月に本願寺史料研究所副所長の金龍静先生がご来院くださり、お蔵に所蔵されるお軸を点検して頂いたところ、永正十八年の阿弥陀如来絵像が見つかりました。裏書は肉眼では確認出来ない状態なのですが、赤外線撮影により蓮如上人の子にあたる実如上人の花押が確認され、本願寺より流布された年号もわかりました。他府県で同等のお軸は県指定の文化財になっていきます。先代にも伝わっていません。先代に比べて、驚きを隠せません。五百年前と言え、善巧寺が開基して間もない頃です。当時の人はどんな想いで阿弥陀さまに手を合わせていたのでしょうか。



裏書（赤外線撮影）